

令和7年10月9日

## 令和7年第三回都議会定例会を終えて（談話）

東京都議会自由民主党  
幹事長 小松大祐

本日、令和7年第三回定例会が終了しました。

本定例会は、改選後最初の議会であり、都民の皆様にお約束した公約の実現に向け、スタートを切る議会であります。都政の根幹をなす都民生活に密着した各分野の施策を着実に推進することはもとより、首都東京のプレゼンス向上に向けた中長期の施策について、積極的に知事に提言しました。

以下、都政における重要施策について小池知事に求めました。

### 1 国連機関誘致について

国際情勢の先行きが不透明な中、我が国の成長の原動力である東京がそのポテンシャルをフル活用し、我が国の国際的な存在感を向上させていくということは極めて重要です。日本は、長年、国連常任理事国入りを外交方針の政策の一つに掲げてきました。国際的な政治上の影響力や国際的ステータスの向上、安全保障環境の改善などの効果が期待されています。国連の誘致に向けたその後の取組と誘致により期待される効果について質しました。

### 2 自然災害リスクの対応について

世界中で自然災害が頻発、激甚化しています。 都は、世界の都市が共通する自然災害のリスクに対応するため、海外都市との国際ネットワークを活用するなど、連携をより一層強化すべきと求めました。

### 3 来年度予算編成について

令和8年度予算編成に向けて、日本全体の成長と発展を牽引すべく、スタートアップの育成、都市インフラの整備、子育て・教育支援など、将来に向けた投資も積極的に行っていくためには、強固な財政基盤の堅持が不可欠であることを提言しました。

### 4 民間火葬場について

人件費や燃料費等が上昇しており、生活全般にわたり物価が高騰している中、民間火葬場の料金についても都民の関心が高まっています。民間の火葬場の料金について、区とともにどのような対応を行っていくのか、見解を求めました

## 5 ワンヘルスの理念について

来年4月、東京で世界獣医師会大会が開催されます。都は、この大会を後押しするとともに、人と動物の健康、そして環境保全を一体的に捉えるワンヘルスの理念を踏まえた動物との共生社会を見据えて、この機会に小池知事からも世界にメッセージを発信していくことを求めました。

## 6 高校教育について

将来的には子供が減っていくことが見込まれる中、都立高校がこれからも優れた学びの場として、生徒や保護者に選ばれる魅力ある学校となるよう、早急に改革を進めていくことを強く求めました。

## 7 洋上風力発電事業実現について

伊豆諸島での計画は、ゼロエミッショントリニティの実現に大きく貢献し、島しょ地域の地域振興や防災力向上など、地元の期待にも応えられる一大プロジェクトであり、今後の国内産業の進展やエネルギー安全保障にも大きく寄与するものです。国と連携し、果敢に取り組んでいくことを求めました。

## 8 多摩振興について

大きな成長のポテンシャルを有する多摩地域は、移住先として若い世代が注目するといった動きも出ている一方、解決すべき課題も残されています。多摩振興アクションプランに基づく施策を前に進め、成果を上げていくことで、さらなる振興につなげていくことを求めました。

## 9 無電柱化の推進について

都は、開発許可を受けて行う宅地開発における無電柱化の条例の基本的な考え方を示しました。都が条例を制定することについて、都市の強靭化をより一層推進していくという観点からどのような意義があるのか質しました。

## 10 海外留学支援制度、東京グローバル・パスポートについて

大学生等を対象とした都独自の海外留学支援制度、東京グローバル・パスポートについて、特にスポーツの分野においても、世界を舞台に挑戦することを主体的に目指す若者を都が積極的に支援する留学支援などの仕組みの必要性を指摘しました。

我々都議会自民党は、様々な課題が山積する中にあって、常に都民や事業者の皆様の声をしっかりと受け止め、「東京を世界で一番の都市」実現のため、東京の実態を踏まえた実効性のある政策に全力で取り組んでまいります。